

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371500774
事業所名	サポートハウスごらく

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	恒例の「お月見泥棒」は、1時間の予定で開催されたが、30分で用意したお菓子が品切れとなる盛況ぶりであった。 近隣の公園で幼稚園の運動会が開催され、利用者が見物に行った。これを今後の交流に発展させるよう、管理者・職員は策を練っている。 かつて実施されていた中学生の職場体験学習受け入れを、再開に向けて検討している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	年間6回の運営推進会議のうち、3回は同法人の近隣ホームと合同で開催している。 「防災関係」や「地域交流の活性化、あり方」が、参加メンバーによって討議されている。会議に参加した利用者も積極的に発言している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	生活保護費を受給している利用者が7名いることから、区の保護係と緊密な連携関係を構築している。そのうちの6名は同じ身元引受人（法人）であり、担当者が足しげくホームを訪問して利用者の話を聞いている。 市や区との連絡・調整は法人本部の本部長が担当している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族のホーム来訪が頻回にあり、その都度意見や要望を聞き取っている。 法人内3ホーム合同企画のバス旅行には、当ホームの4家族が帯同して（バスに同乗して）利用者と一緒に楽しい1日を過ごした。 ホームだよりが毎月発行されており、家族の元へ利用者の近況を伝えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎